

# おでかけだより

秋号 NO. 59

2018年10月1日



発行：NPO法人 おでかけサービス杉並 発行責任者：樋口 蓉子  
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103  
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



## 安全運転ミーティング

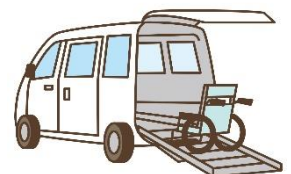
理事・コーディネーター 野口 恭子

8月26日(日)午後、阿佐ヶ谷の地域区民センターで今年度初めての安全運転ミーティングを行いました。開催が日曜日だったためか、運転協力員の参加は10名といつもより少なめでしたが活発に意見交換がされた良い会となりました。最初の実績報告。利用状況については、今年度4月～8月現在で38名(内9名の方が車いす利用)と多くの新規会員登録がありました。すでに皆さんの利用が始まっていることもあり、月ごとの運行回数は計画を上回る勢いです。しかし、新規の運転協力員の登録はゼロで、運行のやりくりを追われている状況を報告しました。次に事故報告として、あて逃げされた事故(現在人身事故扱い)と、運行中の車両トラブルについてそれぞれの当事者から報告があり、今後の安全運転に生かしていくよう全員で共有しました。特に車両トラブル時の対応については、エンジントラブル発生から路肩退避、猛烈な暑さの件、レッカー車手配、利用者の症状と車内での対応、救急車手配(暑さの為利用者の体調を考慮)、緊急病院での処置内容、帰りのレンタカーの手配、車両保険の件、車の修理代の件、等等・・・今後、もし自分が運行中に同じような事態に遭遇したらどうしたら良いか、落ち着いて対応するために大変参考になる話でした。また、これらの報告からドライブレコーダー設置の重要性が話し合われ、団体でも設置の際の費用補助を考えて欲しいとの意見が出され、理事会に提案していくことにしました。その後、杉並区内での事故発生現場の状況を警視庁のホームページからダウンロードした資料を基に意見交換を行いました。事故の多い場所は何といっても幹線道路、逆に少ないところはゾーン30(住宅地内の生活道路で最高時速30キロに規制されている地域)のエリアでした。生活道路内では歩行者などの飛び出しに十分注意しスピードも抑えた運転がされているが、大きな道路に出ると気持ちにゆるみが出るのでしょうか。危険箇所を意識して安全な運行を心がけていくことを確認しました。最後に皆さんからの質問・要望を出し合い、その後懇親会へと会場を移しました。

## 福祉送迎サービスの「運転協力員」になってください!

利用者さんの送迎を支える運転協力員。メンバーが不足しています! 今活動されている運転協力員のみなさんには、精一杯の協力をお願いしていますが、それでも増加している利用者さんの希望、要請には応じきれないのが実情です。運転協力員は、決して十分な収入が期待できる“仕事”ではありません。でも、様々な困難や障がいをお持ちの利用者さんを支え、支援する喜びがある“活動”です。私たちは、元気な間は一人でも生活が出来るかもしれませんが、でも高齢になったり、障がいを持ったりすると、どうしても人の助けが必要となります。「今の自分ならそれが出来る。今は私が支えてあげよう」と、そんな気持ちをお持ちの方は、是非、運転協力員としてこの活動に参加してください。福祉送迎サービス(法律上は福祉有償運送といいます)の運転協力員としての資格を得るための講座が、この秋に開催されますのでご紹介します。

《講座名》 福祉有償運送運転協力員講座  
《時期》 11月11日・18日・25日(いずれも日曜日、全3日間)  
《申込先》 杉並区すぎなみ地域大学(☎03-3312-2382)  
《申込締切日》 10月22日





## 「オープンリビング けやきの見える家」

# 200回を迎えました!

理事長 樋口 蓉子

2014年10月2日に第1回を行ってから、年末年始に1回休む以外には休むことなく毎週木曜日に開催。早4年の月日が流れて、先日8月30日が200回目となりました。

あつという間の200回、というのが正直な感想です。この間、地域の皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。特にケア24善福寺のスタッフの皆様には、立ち上げの時から今日に至るまで、ご支援をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。

毎週開催は大変でしょうと言われるますが、メンバーがシフトを組んで自らも楽しみながら取り組んでいることがそれを可能にし、利用者の皆さんには、木曜日は「けやき」に行く! というのが、生活のリズムになっていることが伺えます。

今、介護予防、フレイル(虚弱)予防ということがよく言われますが、外に出て、人と会い、交わり、話をする。それがいかにその方の生活を豊かに形づくるものかを、毎回感じさせられています。そして「けやき」に来る、それで終わるのではなく、困った時に助け合えるようなそんな関係性づくり、そこから、謂わば「ご近所のたすけあい」が生まれることをめざして、更なる回を重ねていきたいと思っています。



### 新・理事紹介



理事 秋山 糸織

6月の総会で新しく理事に就任し、月一回開かれる理事会に出席するようになりました。ふだんは、区の委託事業の「杉並区外出支援相談センターもび〜る」と「ゆうゆう桃井館」で働きながら、毎週木曜日の「オープンリビングけやきの見える家」のFacebookを担当。また「NEKOの手サービス」では趣味の庭仕事で楽しく活動しています。「いつまでも元気に暮らしたい、そして、体が不自由であっても、できるだけ自分らしく住み慣れた地域で暮らせたら・・・」そんな願いをかなえるための事業をつくりだしてきたおでかけサービス杉並です。これからの社会の変化にともない、どんな役割を果たしていくのでしょうか。先輩理事に教えていただきながら、一生懸命考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



コーディネーター  
つうしん

独り暮らしの方の利用が増えています。これまで一人で頑張っていた方が、足腰が弱くなり歩行がふらつく、物忘れが進んで一人で外出するのは不安と問い合わせをいただきます。多くの方が地域のケア24や介護保険事業所のケアマネジャーからの紹介で、初めてこのサービスを知ったという方がほとんどです。中にはきちんとした説明が行き届かず、一般のタクシーと思っている方もいらっしゃいますが、私たちの活動は運行していただく区民の運転協力員(有償ボランティア)の方がいなくては続けていけません。おでかけサービスではこれまでに47人の方に運転協力員として登録していただきました。現在はその内の18人が登録しており、実際に活動しているのは12人ほどですが、それぞれの運転協力員の方がお互い様の心を大切に、地域の力になりたいと自身の時間を都合して皆さんのおでかけをお手伝いしています。皆さんからの「ありがとう」という言葉が活動の励みになっているそうです。どうぞよろしくお願いたします。



コーディネーター 野口 恭子

